

櫻守の会

2024年3月号

2024年3月1日(通巻298号)
発行:櫻守の会代表 近藤 茂
〒665-0485 宝塚市栄町3-4-10-505
会員数 107名(2月25日現在)
HP : <https://www.sakuramori.net/>

花は咲く ～東北被災地の桜に寄せて

山下 宏明

東日本大震災から間もなく13年が経ちます。未曾有の被害を蒙った被災地には桜の名木や花見の名所が数多くあります。慰霊と防災の祈りを込めた桜の植樹のことも以前は報道されていました。幾度か現地に赴いている私は、関わりがある東北被災地の桜について紹介します。

まずは校庭で待機中の児童74名や教師10名をはじめ多くの住民が大津波の犠牲となった「大川小学校(宮城県石巻市)を望む桜」です。大川小学校の裏山や近くの釜屋観音には、亡き孫2人を悼む桜木に込めて長野県の櫻守が支えるオオヤマザクラ269本(小学校と住民の犠牲者数)など、多くの桜が植えられています。亡き子を想ってヒマワリを咲かせるご遺族とのご縁で18年夏、私は引率した高校生と共に釜屋観音の桜の周りを草引きボランティアしました。夫婦では三度目となる23年6月には、再会したご遺族と遺構整備された校舎や伝承館を見学した後、桜木の成長を確認。「櫻守の会」的には日当たりが少々気になりました。

次は「会津若松城(福島県)の八重の桜:はるか」です。最近発足した当会「さくら研究会」テキスト『桜』(岩波新書)の著者・勝木俊雄先生の新品種「はるか」は、復興の象徴として大河ドラマ「八重の桜」主演の綾瀬はるかさんに命名され、福島県から広がっています。何と私たち夫婦は18年3月、会津若松城で綾瀬さんのメッセージが添えられた「はるか」を観ているのです。厳冬を乗り越え芽吹き始めた「はるか」は、戊辰戦争以降、辛酸をなめてきた東北のみならず、時空を超えて被災者に寄り添っているようでした。

このほか東北には津波浸水地を示す「さくら並木プロジェクト」構想や「東北・夢の桜街道」札所があります。14年夏、陸前高田(岩手県)の山を削って嵩上げ土砂を運ぶ巨大ベルトコンベヤとダンプの轟音粉塵下、市長の熱弁で知った「さくら並木プロジェクト」。陸前高田の随所や高台移転した鶴住居小中学校(岩手県釜石市)など、植樹が進んでいます。当会でも何かお手伝いできないでしょうか。

日本三大桜にして大地震を耐えた桜街道1番札所「三春滝桜(福島県三春町)」や原発事故で閉鎖中だった「夜ノ森桜トンネル(福島県富岡町)」は、残念ながら近くを通り過ぎただけでした。「大川小学校を望む桜」や「会津若松城の八重の桜」が開花する頃、ぜひとも訪ねたい桜の名所です。思い起こせば14年春に観た桜街道88番札所「弘前公園(青森県)」の桜が奇麗だったこと。これからも被災地をはじめ各地の桜を愛でる旅を続けたいものです。



大川小学校「手あわせ桜」



会津若松城 綾瀬さんのメッセージ

***** 目次 *****

- P1 序文： 花は咲く ～東北被災地の桜に寄せて
- P2 2024年2月度活動実績表
- P3～5 活動報告： 桜の園、青葉台、ゆずり葉の森、山手台、武庫山の森、公開講座、環境体験学習
- P6～7 お知らせ・案内： 運営委員会報告、チェーンソー講習会、環境パネル展、自然観察会、武庫川エコハイク
- P7～8 櫻守ひろば： スペイン巡礼紀行「北の道」③、会員紹介
- P8 活動予定表

< 2024年2月度 活動実績表 >

月日	活動地・参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	人数
1月24日 (水)	桜の園・亦楽山荘 12名	曇り	(赤松道)園路周辺のシダ刈り、常緑樹除伐	6
			(つつじが丘～ササラ沢)枯れアカシデ伐採	6
1月27日 (土)	ぶらざこむ1 8名	晴れ	会報印刷/運営委員会	8
1月28日 (日)	桜の園・亦楽山荘 22名	曇り	(赤松道)枯れ松他伐採及び園路の整備	7
			(つつじが丘展望所周辺)枯れ松等の伐採	7
			(どんぐりの道)常緑灌木の伐採、剪定	6
			(隔水亭)内部の清掃、整理	2
1月31日 (水)	青葉台 13名	曇り	(陽光広場南奥)枯れ松伐採	4
			(光ガ丘ルート入口付近)草刈り、落ち枝処理、常緑灌木の除伐	5
			(光ガ丘ルート第二丘前後)階段、路肩の改修	4
2月3日 (土)	里山公開講座 53(19)名		第1部「桜の生長と開花の生理学」 第2部「櫻守の会と活動地の桜」	34
2月4日 (日)	武庫山の森 12名	曇り	(塩谷ルート)園路沿いの高木、枯マツの伐採	6
			(武庫山ルート)簡易堰堤付近のササ、常緑樹の処理	6
2月7日 (水)	桜の園・亦楽山荘 20名	曇り	(赤松休憩所周辺)枯れ松等の伐採	7
			(赤松道)枯れ松他伐採及び園路の整備	7
			(どんぐりの道)常緑灌木の伐採、剪定	6
2月12日 (月)	ゆずり葉の森 18名	晴れ	(ゆずり葉ピーク/キツネの森入口)園路の整備(階段横木更新と追設、路肩改修)	5
			(コバノミツバツツジの丘)灌木と笹の刈り取り	7
			(モチツツジの谷)密生大樹の間伐、灌木の剪定と間伐	6
2月15日 (木)	桜の園・亦楽山荘	雨	中止	—
2月16日 (金)	逆瀬台小学校 14名	曇り	環境体験学習(シイタケ植菌) 児童45名、先生3名、用務員さん1名	14
			①キノコの話②ドリルで穴開け③種駒打ち④井桁組み④散水⑤記念撮影	
2月17日 (土)	武庫山の森 20名(1)	曇り 後 晴れ	(塩谷ルート)園路沿いの高木の伐採	7
			(南谷堰堤)北側のササ・シダ刈り、常緑樹の処理	8
			(塩谷ルート)園路沿いのプラ階段の設置	5
2月20日 (火)	山手台 14名	曇り	(北斜面;平地)植樹(ヤマザクラ16本、オオシマザクラ3本) 全員で	—
			(南斜面中心)ヤマザクラ1本の移植、クズの根の掘り起こし、階段掃除	8
			(北斜面 ; 水平道)常緑灌木・ツル・イバラの除伐	6

延べ参加人数 175

桜の園 (亦楽山荘)

1/24 (水) 今冬最強の寒波で午後から降雪予報の中、1班は城ヶ丘広場から赤松ビューポイントに向けて園路際に繁茂したシダ刈りと不要な常緑樹の伐採を行いました。もう1班はつつじが丘からササラ沢への下り道の急斜面で、懸案だった枯れアカシデの伐倒を周囲のソゴやツバキ 5~6本を除きながら伐倒しました。最奥地で移動と資材運搬にも時間を要しました。



赤松道シダ刈り作業



ササラ沢上部 急斜面での準備作業



ササラ沢上部枯アカシデ 狙い通りに伐倒

1/28 (日) 赤松道ビューポイント周辺の枯れ松等の伐採は、盛大に繁茂するシダをかき分けながらの作業、安倉山分岐からつつじが丘展望所にかけては、伐採のためにチルホールを準備するなどの、どちらも手のかかる作業でした。どんぐりの道では園路周辺の灌木の伐採を黙々と進めました。

一方、最近使用頻度が少なくなって内部が乱雑になりつつあった隔水亭を女性2名がきれいに清掃整理整頓してくれました。



安倉山分岐付近枯松伐採



赤松道リョウブの伐採



隔水亭清掃、整理整頓

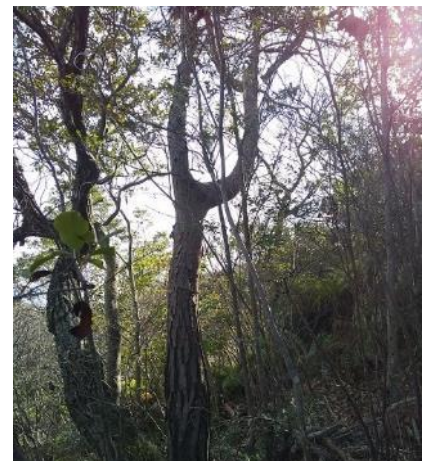
2/7 (水) 曇り空に時折雪がチラつき日差しの恋しい一日でした。3班とも前回からの継続作業。赤松道は少し上部に移動して枯れ松が集中している地点での伐採作業、今回はヘッジトリマーを使ってシダ刈りにも注力しました。赤松植樹地周辺も順調に枯れ松伐採を進め、どんぐりの道の園路際の整備も城ヶ丘広場直下まで完了しました。(坂田 記)



赤松休憩所: 枯松伐採ロープで牽引



どんぐりの道: 園路脇の整備



赤松道: 処理苦勞した枯れ松

青葉台

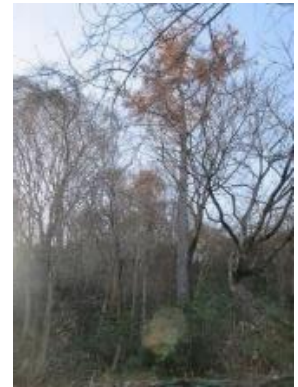
1/31(水) 山の神様に”安全祈願”を行った後、天気予報で午後から断続的に小雨ということで、集合場所に近い場所で作業を開始しました。陽光広場南奥園路脇急斜面上約3mの丘のφ約40cm高さ約12mの大枯れ松の伐採と、光ガ丘ルートで草刈と常緑灌木の除伐、更に路肩の改修、山側斜面への土砂止め設置と階段横木の更新を行い、午前11時半頃小雨が降り出したので作業を終了しました。(加賀野 記)



光ガ丘ルート入口部で笹、灌木を除伐



光ガ丘ルート第二丘奥の階段を改修



陽光広場南奥園路脇
台地上の大枯れ松

ゆずり葉の森

2/12(月) お日様が高くなり暖かくなり、ジツトリ汗を掻いての作業となりました。1班はゆずり葉ピーク～キツネの森入口間で、腐朽化した階段横木の更新、階段と斜面土砂止め板の新設並びに路肩の改修を、コバノミツバツツジの丘では繁茂した笹と灌木の刈り取りを行うと共に、モチツツジの谷で園路脇に密生し日光を遮っているヒメユズリハ大樹群の間伐と灌木の剪定、間伐を行いました。(加賀野 記)



ゆずり葉ピーク～キツネの森
入口間で階段と路肩の改修



コバノミツバツツジの丘
西側斜面で笹、灌木の刈り取り



モチツツジの谷で伐採した
ヒメユズリハの枝葉処理

山手台

2/20(火) 午前中に昨年末から穴掘りなどの準備を進めていた桜の植樹を行いました。天気が心配でしたが幸い雨は昨晚でやみ、参加者全員で実生から育てた19本の桜の植樹を行いました。午後からは2班に分かれ、北斜面水平道での常緑灌木やツル・イバラの除伐・クズ根の掘り起こし、南斜面でのヤマザクラ1本の移植・階段の掃除などを行いました。

北斜面における桜の植樹は、引き続き2～3年後にも行う予定です。先は遠いですが植樹した桜がいっぱい花を咲かせることを楽しみにしています。(岡 記)



北斜面平地；植樹中



植樹後の記念写真



常緑灌木・ツル等の除伐

武庫山の森

2/4 (日) 立春を迎えてもまだまだ寒い中での作業でした。塩谷ルートの高木クスノキ処理の継続で1本を大鋸で倒して処理しました。近くに大きな枯マツを発見し次はこちらを倒しました。午後から枯マツの枝を処理し、中程度のクスノキを2本間伐しました。武庫山ルートの簡易堰堤南側の園路から見える範囲のササ刈りと常緑樹の処理をしました。園路が狭いところですので明るい広がり確保することができました。

2/17 (土) 日差しが暖くなる一方で花粉も気にしながらの作業でした。塩谷ルートの高木クスノキ処理の継続で直径 50 センチを超える大木に対してチルホールを使い、掛り木や周りの桜への被害もなく処理することができました。宝松苑ルートのコナラの枯枝が園路際で浮いていたのを処理した後、南谷堰堤の北側のササやシダの刈り取り、常緑樹の処理をしました。塩谷ルートの腐食した階段をプラ階段に付け替え、滑りやすそうな場所に追加で設置しました。桜の季節を前に歩きやすくしております。(横山 記)



クスノキの追切



プラ階段の設置



綺麗に伐採されたクスノキ

里山公開講座

2/3 (土) 櫻守の会主催の公開講座を宝塚市男女共同参画センターで開催しました。募集定員を超える 53 名(会員 34 名、一般 19 名)の参加があり、第 1 部では智頭の山人塾塾長(元鳥取大学農学部教授)山本福壽先生から「桜の生長と開花の生理学」のテーマで講演頂きました。いろいろなさくらの紹介に始まり、遺伝子、開花前線、結実、衰弱と病害虫、樹勢回復、漏脂のメカニズムについて面白い内容が盛り沢山でした。樹木医の山本真弓先生より貴重な育樹のアドバイスも頂戴しました。第 2 部は運営委員の清水さんより「櫻守の会と活動地の桜」を紹介しました。桜の開花が待ち遠しいです。(瀧本記)



山本福壽先生のご講演

逆瀬台小学校環境体験学習 (シイタケ植菌)

2/16 (金) 秋の「森の学校(ゆずり葉の森)」が雨天中止となってしまったので、3年生児童にとっては初めての櫻守の会による環境体験学習です。雨も夜明け前には止み、児童 45 名たちとシイタケ植菌を楽しみました。最初は恐る恐る使用していた電動ドリルにも少しだけ慣れ、菌駒を木槌で打込むときには、「幸せなら木を叩こう♪」の歌声も聞こえてきました。植菌を終えたホダ木を井桁に組み、散水の後、先輩たちが植菌したシイタケを少し収穫しました。原木シイタケの美味しさを児童たちに楽しんで欲しいです。11月のホダ木の準備に始まり、学習支援に協力いただいた会員の皆様に感謝します。(瀧本記)



シイタケ植菌後の記念撮影

運営委員会報告（2024年1月度）

代表 近藤 茂

2024年1月27日（土） 9:40～11:20 ぷらざこむ1

1. 各活動地トピックス
 - ・武庫山の森：中央ルート園路から7m入った所にハンターが設置した“くくり罠”を発見した。危険なので兵庫県阪神北県民局に撤去を要請し、撤去していただいた。またハンターが今後設置する時は、事前に関係者への連絡するよう指導を依頼した。
 - ・桜の園：親水広場横の木橋の修理が終了した。入口階段は全面補修迄の間、応急措置で対応する。
2. チェーンソー講習会・・・2024年3月2日（土）、ゆずり葉の森、講師：愛林興業（株）にて実施
受講希望を調査して、受講者8名を決定した。今年受講できなかった人は、来年度の講習会に参加してください。
3. 印刷した会報等の発送方法の変更検討
会員への会報等諸資料の発送をこれまでは“クロネコDMメール”にて送っていたが、ヤマト運輸（株）より、「2月1日より日本郵政の配送網を活用した“クロネコゆうメール”に変更する。配送料は約1.6倍になる。」との連絡があった。この数年の間に配送料や手数料が大幅に上昇しており、最も安価で合理的な発送方法の検討に入ることにした。
4. 第4回“宝塚温泉まつり”への参加・・・実行委員会より参加要請があった。
4月28日（日）で桜の園の活動と重なるが、少人数での対応が可能であるので今年も参加することにした。

チェーンソー講習会の開催

運営委員会

チェーンソー作業の安全確保と技術継承を目指して、下記により講習会を開催します。

日時 2024年3月2日（土） 10時～14時半少雨決行 予備日3/9（土）

場所 ゆずり葉の森

内容 座学（安全、基本動作）、現地での実技講習、メンテナンス等

講師 愛林興業 播戸会長

受講定員 8名 2名×4班（チェーンソー4台）・・・委員会報告参照

宝塚市環境パネル展のご案内

運営委員会

環境都市宝塚推進市民会議主催の環境パネル展が下記の要領で開催されます。櫻守の会も出展しますので、是非見に行ってください。

場所：逆瀬川 アピア1 ふれあい広場

期間：2024年3月21日（木）～28日（木）

自然観察会のお知らせ

運営委員会

春の自然観察会を、下記の通り『桜の園』で実施します。この時期、廃線跡や桜の園にはどんな花が咲いているのでしょうか。山下康さんのガイドでゆっくり観察したいと思います。

皆さんの参加をお待ちしています。

・日時 2024年4月14日（日）9:30～11:50

・集合場所 僧川トイレ前広場（9:30集合）

（問い合わせ先） 岡（090-5895-4156）

■第201回「道場から大岩岳・丸山湿原」 健脚向き 約11km

日時：3月9日（土）雨天中止 集合：JR福知山線「道場駅」駅前広場 9時30分

今回は北摂の山々を一望できる大岩岳と県下の丸山湿原を訪ねます。

参加費：100円（保険代、資料代） 申込み：不要（当日集合場所にお越し下さい）

持ち物：弁当、飲み物、雨具 服装：ハイキングの服装、帽子着用軽登山靴

＊お問合せ：携帯090-7763-6763（上田） 主催：エコグループ・武庫川

URL：<http://ecomukogawa.web.fc2.com/>（武庫川エコハイクで検索）

< 櫻守ひろば >

スペイン巡礼紀行「北の道」③ カンタブリア州を歩く（全7回）

瀧本 浩一

緑いっぱいのカンタブリア州を歩きます。山脈にはね返される大西洋からの風に強く影響を受けるため湿潤で冬も暖かい海洋性気候です。



自転車と歩行者の専用道路



小さなボートで対岸に



人気のアルベルゲ（巡礼宿）

世界遺産の吊橋「ビスカヤ橋」を後にし、歩行者・自転車の専用道路を延々と歩きます。ラレドからは小さなボートで対岸に渡ります。ノハ Noja から少し内陸に入ったグエメス Güemes にある北の道の中で最も有名なアルベルゲ（巡礼宿）「Albergue La Cabaña del Abuelo Peuto」に宿泊しました。料金はドネーション制（夕食・朝食込み）で自分の気持ちの宿代を置いていくというシステムでした（少し奮発して€20の寄付）。再び、美しいカンタブリアの海岸線に戻ります。州都のサンタンデルはとても美しい街ですが、郊外にスペイン内戦時代フランコ軍に追い詰められた人が身を投げたという悲劇のサンタンデルの灯台があります。



北の道を楽しむサイクリスト



高校の臨海学校はサーフィンスクール



悲劇のサンタンデル灯台

スペインで最も美しい村といわれるサンティリャーナ・デル・マールは14世紀から18世紀までの建築物が残り、中世の姿をそのまま残しています。近くにはアルタミラの洞窟があります。コミーダスでは8月号で紹介したアントニ・ガウディによる「エル・カプリチョ」と町の主役ともいえるポンティフィシア大学など素晴らしい建造物を楽しむことができます。

スペインで最初に設置された国立公園のピコス・デ・エウロパの山並みが見えてくるとアストゥリアス州も間近です。

会員紹介 竹内耕三さん

昨年10月から参加しています竹内耕三と申します。

2019年に廃線跡や桜の園を歩き、皆様の活動を知りました。サラリーマン引退後を睨み、新たなことを探していた時期でタイムリーな出会いでしたが、新型コロナで一旦自重、やっと活動に参加することが出来ました。

私は岡山県の田舎育ちで小さい頃は野山が遊び場、また当時は親の手伝いとして山から木を切り出し薪作りもしていましたので、山での作業は懐かしさで一杯です。良い空気を吸い身体を動かせば健康年齢も伸びると信じています。

少しずつ実践を積みたいと思っていますので、ご指導を宜しく願います。 尼崎市在住 竹内耕三 (1955年生まれ)



< 活動予定表 (3月・4月) >

3月		場所等	4月		場所等
3月3日	日	武庫山の森	4月3日	水	桜の園 (亦楽山荘)
3月6日	水	桜の園 (亦楽山荘)	4月5日	金	ゆずり葉の森
3月11日	月	ゆずり葉の森	4月7日	日	武庫山の森
3月14日	木	桜の園 (亦楽山荘)	4月11日	木	桜の園 (亦楽山荘)
3月16日	土	武庫山の森	4月14日	日	自然観察会
3月19日	火	山手台	4月16日	火	山手台
3月24日	日	桜の園 (亦楽山荘)	4月20日	土	武庫山の森
3月28日	木	青葉台	4月23日	火	青葉台
3月30日	土	会報印刷/運営委員会	4月27日	土	会報印刷/運営委員会
			4月28日	日	桜の園 (亦楽山荘)

集合時間：桜の園(亦楽山荘) 親水広場 9時50分、武庫山の森 9時50分、他の3活動地は 9時30分。

天候：当日朝 6時55分 NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率 60% 以上の時は中止します。

【編集後記】 今冬は寒暖の差が激しく、加えてインフルやコロナが流行し、多くの皆さんが体調を崩されたことでしょう。暖かい春本番が、待ち遠しいです。待望の桜の季節がやってきますが、身近な桜の園のサクラでさえ、たいていは見ごろのチャンスを逃してきました。今年是非！と今から計画を練っているのですが、人知の及ばない天候と植物相手ですから、上手く行くかどうか。(清水 記)